

『道を切りひらく』  
～世の道に進むべからず～

マタイ7：13～14

スズメバチとミツバチ・・・どちらが強いと思いますか。一匹だと当然スズメバチのほうが強いのですが、ミツバチは、集団だとミツバチはスズメバチに勝つことができます。50度近くまで体温を上げたミツバチが集団でスズメバチを襲い熱で撃退するのです。スズメバチとミツバチの戦いは悪魔とクリスチャンの戦いに似ています。私たちが流そうとする時、その愛の巢を壊そうとする力が働きます。1人だと負けてしまいますが、みんなで一致して祈れば勝てます。神の宮を築こうとする時、まずあなたに襲い掛かります。あなたが果たそうと決めたことを果たすためには悪魔に機会を与えてはいけません。1番悪魔が付け入るのが油断です。心のうちにある憎しむ心、妬む心・・・これに働くのです。だからいつも神様がそばにいることを忘れてはいけません。神のうちに一つになって信仰をもって進めば悪魔は私たちに勝つことはできません。人間的に自分がいいと思ってやってしまう、でもそれが本当に正しいのかどうか聞かなくてははいけません。そうでなければ偏ってしまいます。バランスが大切です。バランスを持っているかどうか判断する方法は、想定しない問題が起きたときにどうなるかです。すぐに弱るようであるならバランスが悪いということです。同志社大学の創始者に新島襄と言う人がいます。そこで最初に救われたのが金森通倫と言う人で、この人が岡山にある高梁教会を作りました。新島襄は、「日本を変えなくてはならない」という時に、聖書に出会い、「この聖書が教えられている場所に是非行きたい」と命がけて東京から北海道への船に乗り、そこからこっそりアメリカ行きの船に乗っていきました。命がけて、自分でしようと思ったことを進めたのです。そこにはたくさんの人の助けがありました。そして命がけてやったその行動が結果「同志社」というキリスト教の理念に基づいた大学として実を結びました。あなたは今、「あなたがせよ」と言われたことを本気で切り開いていますか。新島襄は人まねではなく、誰に迫害されても強い信念でやりました。1人の人の命がけの行動で今私たちに福音が伝わっているのです。一つのことを進めるにあたって何かをすることが大きな奇跡のはじまりです。しかし何かしようとする悪い状況を見せてやめさせようとする・・・これが怖いことです。神の計画は誰一人欠けてもいけません。歯車同士がかみ合っていて動いているのです。その歯車同士が愛し合ってスズメバチをやっつけなくてははいけません。その歯車がそれぞれの仕事をしなくてははいけません。その働きを壊すことは一つ、あなたがせよと言われたことをしないことです。人の通った道を通っても新しい道はできません。あなたが矢面に立ってイエスキリストの道を進まなくてははいけません。(マタイ7：13～14)誰かがつくった道は「広い門」です。切り開く道は誰も見つけていないのです。あなたが一度通ったラクダの道は誰かが「ここだ」と教えてくれたから通れたのです。今度はあなたがその小さな穴を見出してあげる努力をしなくてははいけません。あなたはすると決めたことを命がけてやる覚悟ができていますか。神様はあなたに計画をしているのです。私たちは健康な人のためにいくのではありません。神のことばを曲がってしか取れない罪の世の中に私たちは出て行くのです。だから私たちは共に祈り、ミツバチのように心を熱くしなくては勝てません。私たちは最初の救いは勝ち取りましたが、あと、狭い門から入り続けることが大切なのです。神が狭い門からというのであればその道を通らなくてははいけません。「私はもう狭い門を通ったから、あなたも通りなさい」「そこを通ったら幸せになれるよ。通ったら」これでは通れません。狭い門には一緒に入ってあげなくては入れません。あなたに熱い思いがありますか。私たちが道を切り開くために**①主の道を全て歩む**。(申5：32～33)選んでははいけません。「こっちは通るけどこっちはいかない」それでははいけません。あなたが神にせよといわれたのならあなたがしなくてははいけません。誰かがするなんてことはありません。神の召しと召命は絶対に変わりません。だから喜んでその道を進んで証してください。悩んでいる場合にはありません。まっすぐ進むしかありません。都合のいい道なんてないし、好きな道を選ぶことなんてありません。道を通っていると整っていないところが必ずでてきますが、それを整えるのがあなたの仕事です。**②神の道を制限しない**。私たちは「神はこういった」と勝手に決めて制限するのです。神を小さくしていると自分も小さくなるのです。「我等もし事業をなさんと欲せば必ずまずこれがために仆(たお)るるの決心なかるべからず」(新島襄)命がけてやるということです。自分を制限している人は命がけてではありません。神が作ったものを悪くするのはあなたです。(イザ43：18～21)あなたが通れることを知らせ、通れるようにデコボコをとって初めて新しいことが起こるのです。そのために昔のことは忘れてください。**③神の方法をを行う**。(使3：3～)私たちはとかく一人でやっつけてしまいますが、神の方法でやらなくてははいけません。「権力によらず能力によらずわたしの霊によって」(ゼカ4：6)人は裸で生まれ裸でかこに帰ろう・・・この世で得るものは何も意味がありませんがそれが証しされれば意味があります。ただもらったものを誰かに与え恩を着せるようなことはやめなくてははいけません。この世の方法で福音を伝えるのではありません。困った人がいたら真心からできていますか。時を大事にしてください。「聖書にこう書いてあるから、仕方ないからする」これもあなたの方法です。喜んでしなくては意味がありません。御霊によって御霊がするのであって、あなたは立ってするだけです。人間的な方法で始めたりやめたりしてはいけません。何事も時があります。人間的な方法、過去を捨てて神の方法で、神の力で全ての道を進んでいきましょう。(要約者：岩崎祥誉)